※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２	年次	１～２
使用教科書	ウェルビーイングにつなぐ　家庭基礎（教育図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と技能を身につけましょう
・生活の中から課題を見出して、学んだ知識や技能を活用して、解決策を考えて実践し、改善・工夫できる課題解決力を身につけましょう。
・友だちなど様々な人の考えや多様な考え方を知り、自分の考えを調整していきましょう。

２　学習の到達目標

① 生活を主体的に営むために必要な基礎的理解を図るとともに、それらに係る技能を身につける。
② 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活課題を解決する力を養う。
③ 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解をしているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、前・後期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期または後期		ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動	a:生活上の課題を発見し、改善のための実践活動をする意義と実施方法を理解し、生活の中から課題を見つけることができる。 b:設定した課題の解決方法を考え、計画し、実践することができる。 c:実践後に反省・評価を行い、学びを調整し、粘り強く課題解決に取り組もうとしている。	レポート	レポート	レポート
	生涯の生活設計１	①自分の将来をイメージしよう！	a:生涯発達の視点からライフイベント、各ライフステージの特徴・課題について理解している。 b:これからの人生について想像し、自らの目標を想定し、そのために必要なことやリスクについて考えている。 c:生涯発達の視点で各ライフステージごとの発達課題に関心を持ち、学習活動に取り組もうとしている	プリント 考査	プリント	振り返りシート 発言 行動観察
	青年期の自立と家族・家庭	①自立への一歩を踏み出そう ②家族･家庭って何？ ③将来の自分と家庭を想像しよう	a:青年期の 5 つの自立、職業の意義、現代の家族の特徴、生活にかかわる法律について理解している。 b:自分のアイデンティティ、生涯発達の視点から青年期をどう過ごすか、ワーク・ライフ・バランスの視点から職業労働や家族・家庭のあり方などについて具体的に考え、意見をまとめたり、発表したりすることができる。 c:青年期の課題や家族・家庭についての学習を自分の問題として捉えようとしている。様々な人と協働し、いろいろな家族の形や性のあり方について理解しようとしている。	プリント 考査	プリント	振り返りシート 発言 行動観察
	子どもの生活と保育	①子どもはどう生まれ育つ？ ②子どもの生活にどうかかわる？ ③子育て社会の課題とは？	a:子どもの心身の特徴や発達、子どもの生活、遊びの意義、保育における親やおとなの役割、子どもの権利と福祉、現代の子どもを取り巻く課題について理解している。 b:子どもの心身の特徴や発達、子どもにとって望ましい保育環境、現代の子どもを取り巻く課題について考え、意見をまとめたり、発表したりすることができる。 c:子どもに対するイメージを膨らませ、保育におけるおとなの役割や子どもの権利と福祉について、自分ごととして考えようとしている。	プリント 考査	プリント	振り返りシート 発言 行動観察
	高齢期の生活と福祉	①高齢期ってどういう時期？ ②高齢化する日本を生きる	a:高齢者の心身の特徴、認知症の特徴、我が国の高齢化の特徴、高齢者福祉の現状と課題、高齢者の生活を支える制度について理解している。 b:高齢化が進む現状や高齢者を取り巻く社会について知り、その課題と改善について考えをまとめたり、発表したりすることができる。 c:高齢期の生活を支えるしくみや、高齢者を取り巻く課題を、高齢者の立場に立って、自分の将来像として考えようとしている。	プリント 考査	プリント	振り返りシート 発言 行動観察
	共生社会と福祉	①共生ってなんだろう？ ②ともに支え合う社会とは	a:自助・互助・共助・公助、共生社会の重要性、ノーマライゼーション、社会保障について理解している。 b:共生社会の重要性を考え、その実現のための課題について具体的に考えをまとめたり、発表できたりする。 c:共生社会実現のために、自分に何ができるかを考え、地域社会の一員として他者とどのようにつながり、支え合っていくのか考えようとしている。	プリント 考査	プリント	振り返りシート 発言 行動観察

※令和４年度以降入学生用

	衣生活と健康	①衣服の役割ってなんだろう？ ②衣服はどうやってつくられている？ ③衣服の計画･管理を知ろう ④今後の衣生活を考えよう	a:被服の機能、衣服が健康に与える影響、衣服の入手・洗濯・保管などの衣服管理、持続可能な衣生活について理解している。基礎的な技術を身につけている。 b:自分の衣生活や被服の社会的機能について考え、意見を発表することができる。 c:学んだ知識を活用し、着装、被服管理、持続可能な衣生活などについて考え、自分の衣生活を改善しようとしている。粘り強く技術を習得しようとしている。	プリント 考査 実習レポート	プリント 実習レポート	振り返りシート 発言 行動観察 実習レポート
	食生活と健康	①なぜ食べるのだろう？ ②私たちは何を食べている？ ③食品を選ぼう ④今と未来の体をつくろう ⑤持続可能な食生活を目指そう	a:食の大切さ、栄養素の特徴とそれを多く含む食品、食品の栄養的特質、調理上の性質、食品表示、食中毒、資源・エネルギーや食品ロスに配慮した食品の購入・調理・保存について理解している。 b:自分の食生活を分析し、現代の食生活の傾向と課題と比較して考えをまとめることができる。食品群別摂取量のめやすを活用し、献立を考えることができる。安全や衛生を考えて調理ができる。 c:栄養素や食品、表示の知識を生かして、実生活でも食生活を改善しようとしたり、食品の表示を見て購入しようとしたりしている。食の安全・衛生について主体的に取り組み、学んだことを家庭でも実践して食品を調理しようとしている。	プリント 考査 実習レポート	プリント 実習レポート	振り返りシート 発言 行動観察 実習レポート
	住生活と住環境	①私たちの暮らす住まいとは？ ②快適･安全に暮らそう ③持続可能な住まいのために	a:住宅の役割、住空間の計画、住環境の整備、安全で快適な住生活、住宅の平面図について理解している b:防災への備え、健康的で安全な住生活などについて考えをまとめたり、発表でしたりすることができる。 c:住まいの役割、住まいの手入れ、将来の住まい方、持続可能な住生活について自分の生活を振り返り、自分ごととして考えようとしている。	プリント 考査	プリント	振り返りシート 発言 行動観察
	消費生活と経済計画	①何をどうやって買う？ ②消費問題と消費者を守るしくみとは ③消費者の権利と責任を考えよう ④社会経済につながる家計とは？ ⑤将来の経済計画を考えよう	a:家計と収入・支出、キャッシュレス、金融商品、契約、消費者問題について理解し、消費者として適切な判断ができる。 b:将来必要になる費用や資産形成、消費者問題の被害防止、消費者の責任と消費行動のあり方について、消費者として考えたり、発表したりすることができる。 c:自分の生活における収入と支出のバランスを考えたり、将来への貯蓄、消費者問題、契約などについて、自分ごととして捉え、考えようとしている。	プリント 考査	プリント	振り返りシート 発言 行動観察
	生涯の生活設計２	①Well-being を実現しよう！	a:多様な生き方があること、自分の生活を自ら創造していくことの重要性を理解している。 b: これまでの学習と関連付けながら、自分らしいライフスタイルの実現を目指して生活設計を立てたり、発表したりできる。 c: 導入で設計した自分の生活設計を見直し、生活充実向上に向けて調整し、粘り強く実践しようとしている。	プリント 考査	プリント	振り返りシート 発言 行動観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度